ドラマで学ぶ韓国語(2)―「トッケビ」に出てくる独特な韓国語表現・文化語・掛け言葉を中心に―

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2023-03-15 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 澤田, 浩之, SAWADA, Hiroyuki メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15053/0000000022

Copyright © JAPAN COAST GUARD ACADEMY 2022

【解　説】

ドラマで学ぶ韓国語（2）

―「トッケビ」に出てくる独特な韓国語表現･文化語･掛け言葉を中心に―

드라마로 배우는 한국어（2）

–「도깨비」에 나오는 독특한 한국어 표현, 문화어휘, 동음이의어를 중심으로 –

澤　田　浩　之

海上保安大学校　研究報告　第67巻　第1号　通巻第115号　令和4年度

【解説】

ドラマで学ぶ韓国語（2）
－「トッケビ」に出てくる独特な韓国語表現・文化語・掛け言葉を中心に－

澤田　浩之

1. はじめに

本稿は、中・上級の韓国語学習者のために、韓国ドラマ「トッケビ」に出てくる「独特な韓国語表現」、「文化語」、「掛け言葉」を中心に解説したものである。

「独特な韓国語表現」では、日本語に訳すと何となく意味は分かるが、結局のところ何を言いたいのかはピンと来ない表現を抽出し、どのようなニュアンスで使われたのかを解説した。

「文化語」では、各語彙の文化背景を説明するとともに、関連用語を紹介した。

「掛け言葉」では、同音で二つの意味を表す言葉を利用した表現だけでなく、韻を踏んだ表現も含んだ。ただし、次の例のように、「掛け言葉」かどうか微妙なものは除外した。

9 話で死神が、車道に近い方を歩こうとするサニーに向かって、『위험하니까 인도 안쪽으로 인도하려고.（危ないから歩道の内側に導こうと思って）』と言う台詞がある。この台詞では「인도（人道→歩道）」と「인도하다（引導する→導く）」がかかっているようには見えるが、はっきりとは分からない。

また、「独特な韓国語表現」、「文化語」、「掛け言葉」の他に、拙稿（澤田浩之（2022）「ドラマで学ぶ韓国語（1）－「太陽の末裔」に出てくる独特な韓国語表現・文化語・俗語を中心に－」）で扱った表現のうち、「トッケビ」でも使われているものを取り上げ、澤田（2022）での解説を簡略に紹介（表

現によっては本稿に合わせて編集）した上で、「トッケビ」における場面とニュアンスを説明した。

なお、日本語字幕は DVD「トッケビ～君がくれた愛しい日々～BOX1･2」（NBC ユニバーサル･エンターテイメント）に依り、ドラマの中で出てきた【場面】を DVD 何話何分何秒で明示した。本稿は、中･上級の韓国語学習者を対象としていることから、ハングルにはルビを打たず、学習者の理解を助けるために、筆者が直訳を併記した。ただし、「掛け言葉」に関しては字幕が理解の助けにならないため、字幕を省き直訳のみを記載した。

本稿を通して、語彙や表現を自分のものとし、他の韓国ドラマを見る際に字幕なしで聞き取れ、文化的背景も理解できるようになることを望む。

主な登場人物

チ･ウンタク（女）	受験を控えた高校 3 年生。幼い頃から幽霊が見えたため、クラスメートから敬遠されてきた。母親を亡くし、叔母のもとで虐げられている。自暴自棄の中トッケビが現れ、人生が一変する。
キム･シン（男）	高麗の武臣だったが不遇の死を遂げ、その後不老不死のトッケビとして、胸に剣が突き刺さったまま 900 年以上生きてきた。剣を抜くことができる唯一の存在であるトッケビの花嫁を探し求めている中でチ･ウンタクに出会う。
死神（男）	前世の過ちから、その罰として過去の記憶を全て消去され、死者を迎えに行くという辛い仕事を負わされている。前世は高麗王、ワン･ヨであった。
サニー（女）	チ･ウンタクのバイト先であるチキン店の経営者。前世は、キム･シンの妹であり、王ワン･ヨの妃であった。今世でもワン･ヨの生まれ変わりである死神に想いを寄せる。
ユ･ドクファ	先祖代々キム･シンの家臣を務めており、祖父であ

（男）	るチョヌ財閥ユ・シヌ会長の次に家臣を務めることになっている。家臣であるにもかかわらず、キム・シンに対してはタメロで生意気な態度を取る。

2. 独特な韓国語表現

・～같은 소리하다（～みたいなことを言う）

【場面（1話51分44秒）】死神が9歳のチ・ウンタクに接近するや、老婆が現れて、追い返そうとする。死神が『이거 업무방해예요.（これは営業妨害です）』と言うと、老婆が呆れたように言い返す。

업무방해 같은 소리하고 있다. 언제 적 일을 지금 와서 하고 있어.
（字幕）この子の迎えはもう終わっただろ
（直訳）営業妨害みたいなことを言っている。いつの時の仕事を今になってやってるの。

ここでは「～같은 소리하고 있다（～みたいなことを言っている）」と、語尾が言い切りの形になっているが、実際には「～같은 소리하고 있네.（～みたいなことを言っているね→何を～みたいなバカなことを言っているの？）」、「～같은 소리하지 마.（～みたいなことを言わないで→～みたいなバカなことを言わないで）」の形で使われることが多い。この表現は、相手の言動にあっけにとられて、それを皮肉る場合に用いられる。

死神としては、死者をあの世に連れて行くのが自分の任務であることから老婆に営業妨害をするなと釘を刺した。一方、老婆は、チ・ウンタクが母親のお腹の中にいる時に死神が義務を果たしていなかったのがそもそもの間違いであると考えていることから上記の台詞を言ったのである。

10話には、「～같은」を否定形にした「～같지도 않은」という表現が出てくる。刑務所にいるチ・ウンタクの叔母に面会したチョヌ財閥の秘書が、叔母の保険金詐欺の証拠を確保するや、叔母は急に言い訳をする。秘書は叔母の言い訳に対し、『말 같지도 않은 소리 마시고요.（言葉みたいでもないことを言わないでください→訳の分からないことを言わないでくださ

い)』と語気を強める。この台詞では「소리」の後の「하지」が省略されており、正式には「～같지도 않은 소리하지 마세요（～みたいでもないことを言わないでください)」となる。

・집에서 새는 바가지는 들에 가도 샌다（家で漏れるひさごは野に行っても漏れる）の応用

【場面(2 話 51 分 45 秒)】ユ・ドクファが、実は子供の時からキム・シンがトッケビであることを知っていたと打ち明ける。キム・シンはあぐらをかいたまま、宙に浮いている。その姿を見て、ユ・ドクファが忠告する。

조심 좀 해라. 집에서 새는 삼촌 밖에선 안 새는지 걱정이다, 진짜.
（字幕）外でそんなことしちゃダメだよ
（直訳）気を付けろよ。家で漏れるおじさんが、外では漏れないか心配だよ、本当に。

「집에서 새는 바가지는 들에 가도 샌다(家で漏れるひさごは野に行っても漏れる)」は、家の中で何気なくやっている行動は外に出て人目があるところでもついやってしまう、性根の悪い人はふとした瞬間にその人の素の部分を現わしてしまうという意味のことわざである。「들에 가도（野に行っても)」の部分は、最近では「밖에서도（外でも)」に言い換えて使われることが多い。

上記の台詞では、「새다(漏れる)」の部分を「안 새는지(漏れないか)」としたため、「밖에서도（外でも)」が「밖에선（外では)」となっている。さらに「바가지（ひさご)」を「삼촌（おじさん)」、つまりキム・シンに言い換えて応用している。キム・シンは普段から家の中で人目を憚らずに人間には不可能な能力を発揮している。家の外でもこのような振る舞いを取らないように気を付けろとユ・ドクファは忠告したのである。

・무개념하다（無概念だ）

【場面（2 話 1 時間 9 分 0 秒)】お互いのウソがバレて、口論になったキム・

シンと死神。死神に『그런 거 굉장히 무례한 표현이야. 부주의한 도깨비. (そんなの、ものすごく無礼な表現だぞ。不注意なトッケビ)』と言われたキム・シンが同じ構文で言い返す。

남의 집에 신발 신고 들어가는 게 더 무례야. 무개념한 저승사자.
(字幕) 土足で人の家に上がるほうが無礼だ
(直訳) 他人の家に靴を履いて入る方がもっと無礼だ。無概念な死神。

「개념 (概念)」は、日本語と同様に、物事の概括的な内容という意味であるが、「무개념하다 (無概念だ)」、「개념이 없다 (概念がない)」となると、常識がない、常識から外れているという意味になる。

この場面では、韓国では他人の家に上がる時は靴を脱ぐのが常識であるが、死神はその常識から外れているということを皮肉っているのである。ここでの常識は知識としての常識であるが、「무개념하다」は、道徳的な常識がない場合によく使われ、「몰상식하다 (没常識だ)」と言い換えられる。

9話にもキム・シンと死神が口論になる場面が出てくる。神の計画に不信感を抱き、自暴自棄になったキム・シンを見かねた死神が『그렇다고 이렇게 인간사를 어지럽히면 어쩌자는 거야. 이 몰상식한 도깨비야. (だからと言ってこんなふうに人間界を乱してどうするつもりなんだ。没常識なトッケビめ)』と忠告する。死神は、キム・シンが異常気象を発生させ、人々を不安に陥れたり、死者を生き返らせたりして、人間界の秩序を乱したことを常識から逸脱した行為と捉えているのである。

・호박씨를 까다 (かぼちゃの種をむく)

【場面 (3話1時間7分40秒)】担任に呼び出され、所持品検査をされるチ・ウンタク。カバンの中からライターとマッチが出てくると、担任はチ・ウンタクが喫煙者だと確信する。否定するチ・ウンタクに両手を出させ、匂いを嗅いだ担任があきれ顔で言う。

앞에서는 착한 척, 불쌍한 척하고는 뒤로는 호박씨나 까고.
（字幕）表向きは優等生で裏で悪いことをする
（直訳）表では優しいふり、かわいそうなふりをして、裏ではかぼちゃの種でもむいて。

「호박씨를 까다（かぼちゃの種をむく）」とは、人目がある時は目立たないようにし、裏で悪事を企てるという意味であり、上記の台詞では助詞の「를（を）」が「나（でも）」となっている。

この場面で、担任はチ・ウンタクが、普段は優等生のふりをし、不憫な家庭環境にあることで周りから同情されているのを良いことに、裏では非行を働いていると思い込み、皮肉っている。担任がこの表現を使ったのは、チ・ウンタクの手の匂いを嗅ぐと石鹸の匂いがしたことから、チ・ウンタクが用意周到に証拠隠滅したと判断したからである。

・깨를 볶다（胡麻を炒る）

【場面（7 話 50 分 12 秒）】チ・ウンタクは、幼馴染の男性とアイスクリーム屋でデート中である。そのことでキム・シンは怒り心頭に発している。そこに死神が現れ、チ・ウンタクがなぜアイスクリーム屋にいるのかと尋ねる。

キム・シン：깨 볶는 중이라.
（字幕）アツアツだ
（直訳）胡麻を炒っているところだから。
死神：깨를 볶아?
（字幕）アツアツのアイスとは？
（直訳）胡麻を炒るの？

「깨를 볶다（胡麻を炒る）」は、原義通り、胡麻を火にかけて水分を飛ばすという意味もあるが、「깨가 쏟아지다（胡麻があふれる）」の言い換え表現として使われることもある。「깨가 쏟아지다」は、新婚夫婦に対して仲睦まじい様子を羨ましがったり、冗談で冷やかす場合に使われる。例え

ば、新婚夫婦の「집들이（引っ越しパーティー）」に招待された人が、『깨가 쏟아지네요.（胡麻があふれていますね→アツアツですね）』と冗談を言う場面で、「깨를 볶다」を使って、『깨 볶는 냄새가 나네요.（胡麻を炒るにおいがしますね）』と言い換えることができる。

上の場面で、チ・ウンタクと幼馴染の男性は夫婦ではない。しかし、最近では「깨가 쏟아지다」、「깨를 볶다」は、結婚前の男女がイチャイチャしているのを冷やかす場合にも使われるようになっている。キム・シンの上記の台詞は、嫉妬心からの皮肉であり、『깨 쏟아지는 중이라.』と言い換えられる。

・사이즈가 딱 나오다（サイズがピタッと出てくる）

【場面（9話11分17秒）】サニーが自分の店を物色しているキム・シンを不審に思い、話しかける。サニーは、キム・シンがチ・ウンタクを泣かせた張本人だと気付き、徐々に興奮する。

사이즈 딱 나왔네, 내가.
（字幕）いい所で会ったわ
（直訳）サイズがピタッと出てきたね、私が。

「사이즈가 딱 나오다（サイズがピタッと出てくる）」は、いくつかの状況から判断して、自分の予想に確信が持てた時に「なるほど、そういうことだったの、ようやく分かった」という気持ちを込めて言う表現である。

この場面でサニーは、本人の見立てで2500万ウォン（約250万円）相当のものを身に付けている男が時給6030ウォン（約603円）でアルバイトをしている女子高生のチ・ウンタクを尋ねて来たこと、過去にチ・ウンタクから国の仕事をしていた男から振られたという話を聞いていたこと等から判断し、この男が「유부남（有婦男→妻帯者）」であることを確信した時に上記の台詞を言った。

10話にも全く同じ台詞が出てくる。サニーは、これまで死神が自分に連絡先も本当の名前も教えず、手を握られたからと慌てたのは死神が「유부

남」だからだと確信した時に『사이즈 딱 나왔네, 내가.（サイズがピタッと出てきたね、私が→やっと分かった、そういうこと？）』と言った。妻帯者であることを死神に否定されるサニーは、今度は「국정원（国家情報院）」に勤めているからなのかと問い詰めた。

3. 文化語

・파주（坡州）

【場面（1 話 1 時間 25 分 31 秒）】図書館から出て行くキム・シンを追いかけるチ・ウンタク。ドアの外は、外国であった。

파준가? 영어마을 거기?
（字幕）ここは英語村？
（直訳）坡州なの?英語村のあそこ?

京畿道「파주（坡州）」にある「영어마을（英語村）」は、遊びや体験を通してネイティブと触れ合える韓国内最大級の英語テーマパークである。英語村が設立されたのには、英語教育が過熱する中、公教育では不十分である部分を、私教育がカバーしてきたという背景がある。「영어학원（英語学院→英会話教室）」では物足りなさを感じている父兄が、英語圏に子供を「조기유학（早期留学）」に行かせるようになった。子供だけを行かせるのに不安を感じる母親が自分も子供と一緒に移住するというケースも見られ、それに伴い、韓国に残って仕送りを続ける孤独な父親「기러기 아빠（雁パパ）」が社会問題となった。このような中、海外に行かずとも、韓国内でネイティブに好きなだけ触れ合える施設が必要となり、作られたのが英語村なのである。

・영광 굴비（霊光のイシモチ）

【場面（2 話 12 分 17 秒）】チ・ウンタクがキム・シンに『함께 걸어서 영광이죠?（一緒に歩けて光栄でしょ？）』と話しかけるが、キム・シンは何も答えない。チ・ウンタクは、独り言のように話を続ける。

다행이다. 영광은 굴비지 할까 봐 조마조마했는데.
（字幕）否定されるより返事がないほうがマシだわ
（直訳）良かった。霊光と言えばイシモチだと言われるんじゃないかと、ひやひやしたんだけど。

この場面でチ・ウンタクは、自分で言って自分でツッコミを入れている。最初に言った「영광（栄光→光栄）」と、次に言った「영광（霊光）」が掛け言葉になっている。霊光は、全羅南道にある郡であるが、韓国人が霊光という地名を聞いて思い浮かべるのが「굴비」である。「굴비」は、「조기（イシモチ）」を塩漬けにして干したものであり、「명절（名節→お盆や正月）」に行う「차례（茶礼→簡略化した祭祀）」の「제수（祭需→お供え物）」には欠かせない。毎年、名節の時期になると、その年の物価の指標として「굴비」の値段が引き合いに出されることが多いほど、代表的なお供え物と言える。

・수시（随時）
【場面（2 話 29 分 44 秒）】高校に遅刻したチ・ウンタクが、職員室で担任に叱られる。受験生なのに 3 時限目に来るとは何事かと担任の嫌味が続く。

수시도 접수했고, 고 3 끝났지? 아주. 대학 붙었어. 아주.
（字幕）願書を出しただけでもう大学に受かったつもり？
（直訳）随時も受付けたし、高 3 が終わったつもりよね？完全に。大学に受かったつもりよね、完全に。

大学受験は大きく「정시（定時：정시모집（定時募集）の縮約語」と「수시（随時：수시모집（随時募集）の縮約語）」に分けられる。「정시」は、日本の大学入学共通テスト（旧センター試験）に相当する「수능（修能：대학수학능력시험（大学修学能力）の縮約語」を中心に評価される。一方、「수시」は大学・学科毎に「생기부（生記簿：학교생활기록부（学校

生活記録簿）の縮約語）」、論述、面接などの評価比率が異なっており、「수능」の点数配分も異なる。「생기부」には、成績・出欠だけでなく、校内で行われる「경시대회（競試大会）」における受賞経歴、資格、読書活動状況等、高校時代の生活全般に渡って記載される。

この場面で、担任が腹を立てたのは、「수시」の願書を提出し終えた段階では、これ以上学校での成績が反映されないことから、チ・ウンタクが手を抜いたと判断したからである。

・사회배려자전형（社会配慮者銓衡）

【場面（8 話 36 分 42 秒）】「수시（随時）」で受験するクラスメートがチ・ウンタクと志望校が重なるのではないかと気になっている。チ・ウンタクはそのクラスメートを安心させるように言う。

대학은 비슷해도 너랑 안 겹칠 거야. 난 사회배려자전형이라서.
（字幕）同じ大学に出していても関係ないわ　私は特別枠だから
（直訳）大学は似ていてもあんたとは重ならないと思うよ。あたしは社会配慮者銓衡だから。

「전형」は、「銓衡」つまり「選考」という漢字語であるが、「수시（随時）」には大学・学部によって色々な「전형」がある。そのひとつが「사회배려자전형（社会配慮者銓衡）」である。これは、大学によって定義が異なるが、例えば親のどちらかが外国人である「다문화 가정 자녀（多文化家庭子女）」、兄弟が 3 人以上いる「다자녀 가정 자녀（多子女家庭子女）」、児童養護施設等で生活している「아동복지시설 및 청소년복지시설 생활자（児童福祉施設及び青少年福祉施設生活者）」等が該当する。チ・ウンタクは児童養護施設で生活しているわけではないが、両親がいないことから「사회배려자전형」の資格を満たすという設定であろう。

「수시」にはこれ以外に、国のために犠牲になった、または貢献した人の遺族である「국가보훈대상자전형（国家報勲対象者銓衡）」、「농어촌학생전형（農漁村学生銓衡）」、「저소득층학생전형（低所得層学生銓衡）」

等がある。

・인증샷（認証ショット）/단톡방（団トークルーム）

【場面（2 話 43 分 5 秒)】チ･ウンタクが夜道をキム･シンと歩いているのを見かけたクラスメートが､カカオトークで友人に｢지은탁 원조교제 현장 발견（チ･ウンタク援助交際現場発見)｣とメッセージを送る。メッセージを受け取った友人が返信する。

인증샷 찍어서 단톡방에 올려 얼른.
（字幕）写真を撮って送って
（直訳）認証ショットを撮って団トークルームにあげて、早く。

「인증샷（認証ショット)」は、SNS で自分の発言が事実であることを証明するための写真のことを言う。最も代表的なのは、著名人が選挙で投票したことを証明する「인증샷」であろう。韓国では候補者の名前が印刷されている投票用紙に「ト（복)」と彫られた赤い判子を押すようになっている。この判子を投票用紙に押した後に自分の手に押して、投票所から出た後に判子が押された手が入るように自分の写真を SNS にアップし、投票を呼び掛けるのである。

最近では単に SNS でやり取りしていて、気になる写真を見たい時に『인증샷 보내 줘.(認証ショット送って)』とメッセージを送る場合のように、単に「사진（写真)」の言い換えとして使われたりもする。

「단톡방」は、「단체 카카오톡 방（団体カカオトーク部屋)」の略語であり、カカオトークにおける 3 人以上のグループチャットのことを指す。1 対 1 でやり取りする場合は、「개인톡（個人トーク)」を略して「갠톡」となる。

・옥장판（玉マット）

【場面（3 話 26 分 8 秒)】ひょんなことから知り合いになったチ･ウンタクとユ･ドクファ。ユ･ドクファが『다들 아는 도깨비 하나씩은 있는 거

아냐?（誰でも知り合いのトッケビが一人くらいはいるもんじゃないの）』と言うと、チ・ウンタクは『진짜요?（本当ですか）』と答える。他の人の言うことを信じやすいと判断したユ・ドクファは、簡単に騙されることがないようにとチ・ウンタクをたしなめる。

이 옥장판 “좋아요” 하면 어떻게 해야 돼? “싫어요”.
（字幕）商品を薦められたら“イヤ”
（直訳）この玉マットは良いですよと言われたらどうしなきゃいけない？嫌です（と答えるんだ）。

この台詞の前後に『누가 보증서 달라고 하면 어떻게 해야 돼? “안 돼요”.（誰かが保証書をくれと言ったらどうしなきゃいけない？ダメです（と答えるんだ））』、『누가 과자 사 준다고 하면 어떻게 해야 돼?（誰かがお菓子を買ってくれると言ったらどうしなきゃいけない？）』というユ・ドクファの台詞がある。「옥장판（玉マット）」は、玉が敷き詰められた電気カーペットで、慢性の肩こり・腰痛に効果があるとか、視力が回復するという謳い文句で、何にでも効くとされている健康グッズであり、ここでは、誘惑の手段のひとつの例として挙げられている。「옥장판」は、「다단계（多段階→マルチ商法）」で扱われる代表的な商品のひとつであり、日本で催眠商法を使ってお年寄りに高級羽毛布団を売りつけるのと類似している。

・꽈배기（ツイストドーナッツ）

【場面（7 話 38 分 50 秒）】試験会場から出てくるチ・ウンタクに花束を手渡そうと近づいていくキム・シン。そこに偶然、チ・ウンタクの幼馴染の男性が現れる。デレデレするチ・ウンタクを見て、花束を叩きつけ、家のベッドでいじけているキム・シンは、ユ・ドクファに独り言のように語る。

몸을 배배 꼬더라. 꽈배기인 줄.
（字幕）体をよじっていた　ネジみたいに

（直訳）体を何度もよじっていたよ。ツイストドーナッツかと思ったよ。

「꽈배기（ツイストドーナッツ）」はその形のようにねじれているものを形容する際に比喩的に使われる。この場面で、キム・シンは、幼馴染の男性の前でデレデレするチ・ウンタクの体の動きを「꽈배기」に喩えた。体の動きだけでなく、具体的に目に見えるものとしては、例えば、髪を三つ編みにして欲しい時は、『꽈배기처럼　머리를　땋아　줘.（ツイストドーナッツのように髪を編んで）』と言えば良い。抽象的な喩えとしては、性格がひねくれた人の噂をする時は、『쟤는　꽈배기처럼　속이　배배　꼬였어.（あいつはツイストドーナッツのように中身が幾重にもよじれている）』と、仕事がこじれてはかどらない時は、『오늘은　하루　종일　꽈배기처럼　일이　꼬이네.（今日は一日中ツイストドーナッツのように仕事がよじれるね）』と表現できる。

・모 아니면 도（モもしくはド）

【場面（9話57分24秒）】チキン店を移転したサニーがアルバイトを募集している。そこにチ・ウンタクが現れ、雇って欲しいとお願いする。店が以前より良い場所に移転したことを褒めると…

인생 모 아니면 도야.
（字幕）人生は一か八かの勝負よ
（直訳）人生はモもしくはドなの。

韓国の伝統遊戯に「윷놀이（ユンノリ）」という日本のスゴロクに似たゲームがある。「윷」という4本の棒を投げ、表が1本なら「도」で1マス、表裏2本ずつなら「개」で2マス、表3本なら「걸」で3マス、表4本なら「윷」で4マス、裏4本なら「모」で5マス進める。つまり、「모 아니면 도（モもしくはド）」とは、5マス進める最も良い目か出るか、1マスしか進めない最も悪い目が出るかは分からないが、良い結果が出るはずだと期待して勝負に出るということである。

この後の台詞で、サニーはそれまで住んでいたマンションの「전세금（傳貰金）」を新店舗に充てたことが分かる。「전세금」は、賃貸契約の際に、大家に預ける保証金のことで、その代わりに月々の家賃が発生せず、退去時に全額返却されるという制度である。ソウルのマンションであれば、「전세금」は少なくとも数億ウォン（数千万円）にはなるであろうから、サニーは大枚をはたいて勝負に出たことが分かる。

4. 掛け言葉

・「신」

【場面（1 話 1 時間 17 分 23 秒）】キム・シンが本当に守護神なのかと、疑念を抱くようになったチ・ウンタク。チ・ウンタクがキム・シンに、どんな種類の守護神なのかと、バカにしたように問いかける。

망신? 근신? 내신? 당신? （直訳）恥。謹慎。内申。あなた。

チ・ウンタクは、キム・シンが自分は「수호신（守護神）」であると言い張るので、「수호신」の「신」で終わる言葉を続け、韻を踏むことで、キム・シンをバカにしようとしたのである。「망신（亡身→恥）」、「근신（謹慎）」、「내신（内申）」、「당신（あなた）」には、特に意味があるわけではなく、単に「신」で終わる言葉を羅列したに過ぎない。

・「무」

【場面（2 話 44 分 50 秒）】アルバイト先を探しているチ・ウンタク。チキン屋のバイト募集の張り紙を見て店の中に入ると、チキン屋の社長であるサニーがいた。チ・ウンタクが自己紹介すると、サニーは突拍子もないリアクションをする。

ウンタク：제 나이 9 살에 조실부모하고, 사고무탁하여 혈혈단신…

（直訳）私は年が9歳で親と死別し、四顧無託で天涯孤独で…

社長：아, 무. 우리 집 무 맛있는데. 손님이 무 달라고 한 게 언젠지 모르겠다.

（直訳）あ、大根。うちの店の大根おいしいのに。客が大根のお代わりをしたのがいつか分からないわ。

チ・ウンタクは、自己紹介の際に、前もって準備したと思われる四字熟語を使用した。「사고무탁（四顧無託）」とは、四方を見回しても親しい人が誰もいない、つまり天涯孤独の身であるという意味である。この言葉がどれほど難しい言葉なのかが、この後の場面に出てくる。

チ・ウンタクの叔母がサニーの店を訪れて、大事な姪っ子を自分の許可なく働かせたと、難癖を付ける。これに対し、サニーが『사고무탁이란 말 알아요? 걔가 그거예요.（四顧無託という言葉を知っていますか？あの子がそれですよ）』と言うと、叔母は『뭔 소리야? 뭔 탁? 걔 지은탁인데.（どういうこと？何のタク？あの子はチ・ウンタクだけど）』とかみ合わない答えを返す。

このような難しい言葉を初対面のチ・ウンタクが使い、しかもサニーはうわの空で聞いていたため、「사고무탁」の「무」という音だけが耳に入ってきたのであろう。社長の頭には「무（大根）」が思い浮かんだようである。韓国の「통닭집（フライドチキン屋）」では、正六面体に切った大根の酢漬けがサービスで出てくる。お代わりも自由である。閑古鳥が鳴いているこの店では、大根の酢漬けのお代わりをした客がいつ来たのか思い出せないほど、客が全く来ていないということを嘆いている。

・「살」

【場面（2話54分20秒）】サニーが伝統衣装を着た占い師のもとを訪れる。サニーは委縮した気配はなく、占い師にため口で言い返す勢いである。

占い師：아이구, 서방 복에 자식 복 하나도 없고, 도화살에 역마살에

어휴.
（直訳）ったく、旦那の福に子供の福もひとつもなく、男どもを虜にする邪気に、一か所にとどまることができない邪気に…ああ。
サニー：그니까 살이라는 살은 다 꼈어. 나잇살까지. 나 살 빼야겠죠.
（直訳）そうなの。邪気という邪気は全部ついたわ。中年太りの肉まで。あたし肉を取った（痩せた）方が良いですよね。

占い師の台詞に出てくる「도화살（桃花煞）」とは、激しい情欲により災いを招いてしまうことからこの相が出ている人は結婚を忌避されるというものである。「역마살（駅馬煞）」とは、一か所にとどまることができずさまよい続ける相のことである。占いに出てくる「살（煞）」とは、邪気のことであるが、サニーは、邪気だけでなく「살（肉）」もついたと、真顔で続ける。普通であれば、お祓いでもした方が良いのではないかと相談するところを、ダイエットした方が良いかどうかの相談となっているところに、サニーという人物の特異性が伺える。

・「시」
【場面（3 話 16 分 21 秒）】食堂でテレビに出ているアイドルを見つめるキム・シン。ふと、『내가 지키던 왕. 17 살이었다.（俺が守っていた王様。17 歳だった）』と語り出すや、ユ・ドクファが質問する。

ユ・ドクファ：왕을 지켰어? 대박. 삼촌, 혹시 내시였어?
（直訳）王様を守ったの？すげえ。おじさん、ひょっとして内侍だったの？
キム・シン：오시였다.
（直訳）午の刻だった

「내시（内侍）」とは、王の身の回りの世話をした、去勢された官吏のことである。「환관（宦官）」、「내관（内官）」と呼ばれることもあり、容姿端

麗で、緑色の衣装を身に付けた。ユ・ドクファが期待した答えは、例えば、軍事面では、王の親衛隊であった「내금위（内禁衛）」や、政治面では、現在で言えば国務総理にあたる「영의정（領議政）」のような王の側近を表す職業であった。ところが、キム・シンの頭には、王が17歳の時のある日の「오시（午の刻）」に起こった衝撃的な出来事が占められていて、「내시」の「시」の音をきっかけに語り始めたのである。

・「오백」と「고백」

【場面（3話34分18秒）】サニーにスルメを焼くように言われたチ・ウンタク。ボーっとしてスルメに火が移ってしてしまい、慌てて息を吹きかけ火を消すとキム・シンが現れる。チ・ウンタクが質問しようとすると、キム・シンは言葉を遮る。

キム・シン：500 안 해 줄 거야.
（直訳）500（万）してあげない。
チ・ウンタク：깜짝이야. 고백 안 해 줄 거야로 들었어.
（直訳）びっくりした。告白してあげないと聞こえた。

1話でキム・シンとチ・ウンタクが初めて出会った場面で、願いをかなえてくれるというキム・シンに対して、『한 500 정도 융통 안 되겠냐는 뜻이죠.（500（万）ほど融通できないかっていうことです）』とチ・ウンタクがねだる。それからというもの、キム・シンの頭の中には、チ・ウンタクが何かにつけて500万ウォンを要求するというのがこびりついているようである。この場面では、「오백（五百）」と「고백（告白）」の発音が似ていることから、チ・ウンタクが聞き間違えたのである。

5話でチ・ウンタクが500万という数字にこだわる理由が、大人になるまで「찜질방（チムジルバン→韓国式スーパー銭湯）」で過ごす費用、大学の「등록금（登録金→授業料）」、学資金の返済、生活費等から計算した額だというのが明らかになる。これを聞いた死神が『오백 해 줘.（500（万）してあげて）』と言うと、キム・シンは上記の場面を思い出し、死神が自分

に『고백 해 줘.（告白してあげて）』と言っているような妄想にかられる。

・「짐」

【場面（3 話 1 時間 8 分 41 秒）】キム･シンはその昔将軍であったということを死神に上から目線で自慢する。キム･シンが死神に前世について尋ねると意外な答えが返ってくる。

死神：짐은...
（直訳）荷物/朕は…。
キム･シン：막 던진다. 뭐 왕이었어?
（直訳）むやみやたらに投げるんだな。何、王だったって？
死神：짐 다 쌌냐고?
（直訳）荷造りは終わったかって？

キム･シンは死神の身分なんてどうせ大したことはなかったであろうと余裕をかましていた。ところが死神の口からは『짐은...（朕は…）』という答えが返ってきた。朕は、王様が用いる一人称であるため、これが事実であるなら、自分は将軍だったと、どや顔をしたのが恥ずかしい。それで『막 던진다.（むやみやたらに投げるんだな→盛りすぎだろ）』と言って、そんなはずはないと否定しようとしたのである。

この場面に先立ち、死神は、キム･シンが家を出ていくということが分かっていた。前世が何だったのかというキム･シンの質問には答えずに、逆に『짐은...（荷物は…）』と質問をしようとしたのである。死神の質問を最後まで聞かずに早とちりしたキム･シンは、死神が「짐（朕）」と言ったと思い、慌てたのである。結局、「짐（荷物）」のことであったと分かり、ホッとするキム･シンであった。

・「찔리다」

【場面（3 話 1 時間 14 分 36 秒）】キム･シンが悲しみを感じている時に雨が降るということを知ったチ･ウンタク。今後、雨が降る度にキム･シンの

心配をしなくてはならなくなったということを思わず呟いてしまう。

チ･ウンタク : 뭐, 찔리라고 한 소리는 아니예요.
（直訳）いや、やましくさせようと言ったことではないですよ。
キム･シン : 너 그거 뭐 알고 하는 소리 아니지?
（直訳）お前、それが何か分かって言っているんじゃないよな？
チ･ウンタク : 뭐, 찔리는 게 있긴 한 가 보네요.
（直訳）やましいことがあるにはあるみたいですね。
キム･シン : 그 말 하지 마. 내가 제일 싫어하는 말이 찔린다야.
（直訳）その言葉を言うな。俺が一番嫌いな言葉が刺されるなんだ。

チ･ウンタクは、キム･シンにやましさを感じさせようとして呟いたのである。「찔리다（刺される）」には、精神的なものと肉体的なものとがある。チ･ウンタクは「찔리다」を、他の人に触れられたくないことを指摘された時に精神的に痛い所を突かれたという意味で使っている。一方、キム･シンが使った「찔리다」は、体をナイフで刺されたり、槍で突かれたりと、身体を傷つけられる行為のことを言っている。キム･シンは、かつて武臣だった時に胸を剣で突き刺され、今もその剣が突き刺さったままであることから、この言葉を最も嫌っているのである。

・「벌」、「금」と「벌금」

【場面（4 話 18 分 48 秒）】オープンカーでチ･ウンタクを高校まで送るユ･ドクファ。同級生が車を取り囲み、ひそひそ話をしている。ユ･ドクファは初めてチ･ウンタクの名前を知り、以前調査した叔母のことを思い出す。

ユ･ドクファ : 아, 너네 이모 어떻게 됐어? 그 벌. 그거 금. 아니 벌 그거.
（直訳）あ、君んちの叔母さんどうなった？あの罰。あれ、金。いや罰、あれ。

チ・ウンタク：벌. 금. 우리 이모 무슨 벌금 물어요?
（直訳）罰。金。うちの叔母が何かの罰金を払うんですか？

以前、ユ・ドクファがチ・ウンタクの叔母のことを調べたところ、チ・ウンタクが叔母に虐げられているということが分かった。その事実をキム・シンに報告したところ、キム・シンは「금（金→金塊）」を使って叔母に「벌（罰）」を与えると宣言した。その後、金塊を使ってどのように罰を与えたかを知らなかったユ・ドクファは、オープンカーに乗せた女子高生が実はチ・ウンタクであることが分かるや、叔母がどうなったかが気になり、頭の中が整理できないまま喋ってしまった。上手く言葉になっていないユ・ドクファの話を聞いたチ・ウンタクは、「벌（罰）」と「금（金）」を一つの単語として「벌금（罰金）」と理解したのである。

・「재벌」と「벌」

【場面（6 話 14 分 22 秒）】死神とユ・ドクファ、サニーと友人が、男女 2 対 2 の合コンをしている。この段階ではサニーはユ・ドクファと初対面である。サニーがユ・ドクファに、『같이 오신 친구분은 실례지만 직업이 어떻게 되시죠?（一緒にいらっしゃったお友達は失礼ですが何をしていらっしゃるんですか）』と、職業を尋ねる。

친구 아니고 한참 동생이고 직업은 재벌 3 셉니다. 그래서 벌 받나 봐요. 당신이라는 벌.
（直訳）友達ではなく、はるかに年下で、職業は財閥 3 世です。だから罰を受けているようです。あなたという罰。

「친구」は、基本的に同い年の親しい友人を指す言葉である。この場面でユ・ドクファが「친구 아니고（友達ではなく）」と強調したのは、死神と親しくないということを言っているのではなく、同い年ではないということを言いたいがためである。死神よりも年が若いということをアピールしたかったのであろう。

サニーのことが一目で気に入ったユ・ドクファは、「재벌（財閥）」の「벌（閥）」と、「벌（罰）」をかけて、サニーを口説こうとする。誰かを本当に好きになってしまうと、その人のことを考えるだけで胸が苦しくなったり、普段の生活が手につかなくなってしまう。まさにその人の虜になるわけだ。ユ・ドクファは、「당신이라는 벌（あなたという罰）」という表現を使い、サニーに心をとらえられて、もはや抜け出すことはできないと格好つけたわけだが、名刺を渡しながら自分の名前を言うと、女性陣はドン引きする。韓国では、香港の俳優、アンディ・ラウを漢字語で「劉徳華【유덕화】（ユ・ドクファ）」と呼ぶ。ホストがよく著名人の名前を源氏名として名乗ることから、本名ではないと疑ったのである。

・「업」

【場面（6話18分49秒）】サニーにユ・ドクファの連絡先を教えて欲しいと言われた死神であったが、スマホのロックの解除の仕方がわからない。堪りかねたサニーが手を差し伸べる。連絡先に「トッケビ」、「トッケビの花嫁」という登録名があるのを見てサニーは笑いながら死神に尋ねる。

サニー：이 도깨비는 업종이 뭐예요? 요식업? 내가 아는 도깨비는 떡집인데.
（直訳）このトッケビの業種は何ですか？飲食業？あたしの知り合いのトッケビは餅屋なんだけど。
死神：아, 제가 아는 도깨비는 그냥 업이 많습니다.
（直訳）あ、私の知り合いのトッケビは、ただ業が多いだけです。

韓国では、店名に「도깨비（トッケビ）」や「깨비（ケビ）」を付ける場合がある。ドラマにもこれらの名前を使った店名が出てくる。3話で、キム・シンのことを忘れようとするチ・ウンタクであったが、なぜか「깨비분식（ケビ粉食）」、「깨비완구（ケビ玩具）」という店の看板が目に入ってくる。「분식（粉食）」は、トッポッキ、海苔巻き、おでんなどの軽食を売っている飲食店で、店名に「깨비」が付くことで、素早く料理が出てくるイメー

ジがある。「완구（玩具）」は、おもちゃ屋であるが、店名に「깨비」が付くと、かわいい子どもの鬼が連想される。

サニーは、死神の連絡先の「トッケビ」、「トッケビの花嫁」という登録名を見て店の名前だと思い込み、どの「업종（業種）」なのか、ひょっとして「요식업（飲食業）」なのではないかと尋ねると、死神は仏教用語の「업（業）」と勘違いする。死神は、キム・シンのことを思い浮かべて、「업」の中でも「업이 많다(業が多い)」、つまり罪深いという表現をしたのである。

・「변수」と「변」

【場面（9 話 1 時間 4 分 53 秒）】以前、死神の茶房に入ることができないはずの生きた人間がトイレを借りに入ってきたことがあった。その時のことを回想しながら、キム・シンが死神に語り出す。

인간의 간절함은 못 여는 문이 없고, 때론 그 열린 문 하나가 신의 계획의 변수가 되는 건 아닐까? （中略） 내가 어떤 문을 열어야 신의 계획의 변수가 될 수 있는지.（中略） 근데 신의 계획이 변은 좀 치사하지 않냐?

（直訳）人間の切実さは開けない扉がなく、時にはその開かれた扉ひとつが神の計画の変数になるんじゃないかな。（中略）俺がどんな扉を開けば神の計画の変数になれるのか。（中略）ところで神の計画が便とはちょっとせこくないか。

キム・シンは死神に、人間の切実さによって神の計画が変わるのなら、自分もどれだけ時間がかかったとしてもチ・ウンタクと一緒にいるという選択をすることを決意し、その切実さによって何らかの扉が開かれるかもしれないという感動的な話をする。にもかかわらず、キム・シンが神の計画の「변수（変数）」になるかもしれないと感じるようになったきっかけが、便意を催して死神の茶房に入ってきた人間であったことから、最後の最後で、「변수（変数）」の「변（変）」と「변（便）」をかけて話をしたため、感動的な話が台無しになってしまった。キム・シンの照れ隠しの話法なのであろ

う。

・「핼쑥」と「헬스」

【場面（11 話 1 時間 10 分 11 秒）】カフェでコーヒーを飲みながら死神と後輩が話をしている。落ち込んでいるように見える死神を励まそうと、後輩が冗談を言う。

요새 얼굴이 핼쑥해 보이십니다. 혹시 헬스하십니까? （直訳）最近顔がやつれているように見えます。ひょっとしてジムに通っていらっしゃるんですか？

「핼쑥하다」は、顔がやつれて青白いという意味で、この「핼쑥」と「헬스（ヘルス→スポーツジム）」の音を掛けている。後輩は、死神を励まそうとおどけたわけだが、死神は冷めた目で『재밌냐?（面白いの？）』とリアクションする。後輩は、『너무 우울해 보이시니까 웃으시라고 한 소리지 말입니다.（あまりにも憂鬱そうなので笑わそうと言ったのです）』と、その場を取り繕おうとするが、死神は『안 웃겨.（面白くない）』と一蹴する。

5. 澤田（2022）と重複する表現

・입만 살다（口だけ生きる）

口は達者なのに行動が伴わない人をからかったり、非難する場合に使われる。例えば、自分のせいで問題が起きたのに、事態を収拾せず言い訳ばかりする人や、他の人がやろうとすることに口出しばかりして自分では何の行動もしない人に対して使われる。澤田（2022：9）

【場面（2 話 1 時間 16 分 22 秒）】借金取りがチ･ウンタクの叔母を脅迫する。叔母は、自分がチ･ウンタクの法定代理人だから自分を殺したら保険金を受け取れなくなると言い返すや、借金取りが呆れたように言う。

아이고 어? 이 아줌마는 그냥 이거 주둥이만 살아가지고, 주둥이만 살아가지고.
（字幕）まったくこのおばさんは口ばかり達者だな
（直訳）まったく何？このおばさんはただ口だけ生きて、口だけ生きて。

ここでは、「입（口）」の俗語である「주둥이」に言い換えて使われている。普通であれば、借金取りに脅されたら許しを請うところを、自分を殺したら保険金を受け取れなくなると逆に脅し返すほど口が達者な叔母を、この表現を使って皮肉っている。叔母はこの数か月間、保険金を口実に返済をずるずると引き延ばしていた。借金取りが「주둥이만 살아가지고（口だけ生きて）」と嘆きたくなるのも無理はない。

・그런 게 어디 있어（そんなのがどこにあるの）

「그런 게（そんなのが）」は、相手の主張や行動を指している。その主張や行動に納得がいかない時に、この台詞を言い、この表現を基本として、「그런 게」を他の表現に置き換えて応用される。澤田（2022：4-5）

【場面（3 話 41 分 40 秒）】キム・シンの魔法により、カフェで男性客と美人の女性客がドラマチックな出会いをする。チ・ウンタクは、男性が前世で国を救ったのであろうと考えたが、キム・シンの話によれば、その男は前世で悪人であったと言う。納得がいかないチ・ウンタクはキム・シンを詰る。

그런 게 어디 있어요. 착하게 사는 사람들 다 맥 빠지게.
（字幕）それじゃ善人が報われない
（直訳）そんなのどこにありますか。優しく生きている人たちがみんながっかりするような。

この場面で、高校生のチ・ウンタクは、映画のワンシーンに出てきそうな大人の男女のドラマチックな出会いを見て羨ましがる。チ・ウンタクが、男

性が前世で国を救ったのであろうと考えたのは理にかなっている。しかし、その男は前世で貧しい小作人を苦しめる地主の手下だったと言う。チ・ウンタクの台詞の「그런 게（そんなのが）」は、なぜそんな悪人だった男が美人の女性と巡り合うようにするのかを指しており、この表現を使って、到底腑に落ちないという気持ちを表している。

その後、キム・シンの意図は、この男女のそれぞれの交際相手を救うためだったということが分かり、チ・ウンタクは納得する。男は嘘つきで卑怯者、女は虚栄心の塊で有難さを知らない。キム・シンは、この男女がお互いの地獄になるという不吉な予言をする。

・눈에 뵈는 게 없다（目に見えるものがない）

有頂天になって周りが見えておらず、怖いものなしだと皮肉る際や、自分の親・親戚・知人等の地位が高いことを盾に取って、偉そうに振る舞う人に対して用いられる。この他に、窮地に追い込まれて、何をしでかすか分からない人に対しても用いられる。澤田（2022：5）

【場面（7 話 4 分 29 秒）】チ・ウンタクがキム・シンの胸に刺さった剣を抜こうとするが抜けない。焦ったチ・ウンタクは、童話の中で呪われた王子を助ける方法だと言い、キスをする。キム・シンが正気かと責めると、やけになってもう一度キスしようとする。

나 지금 눈에 뵈는 게 없거든요. 이 상황에서 만지지도 못하면 아저씨가 나보고 다 토해 내라고 할 텐데.

（字幕）剣をつかめないなら贈り物を返せと言うんでしょ

（直訳）私は今目に見えるものがないんですよ。この状況で触ることもできなければおじさんが私に全部返せと言うだろうから。

もしキム・シンの胸の剣を抜くことができなければ、チ・ウンタクは用済みとなる。それまでに受け取った香水、バッグ、500 万ウォンを返した上に、家から追い出されるという、チ・ウンタクにとってはまさに崖っぷちに

立たされた状態である。それを避けるためには、何としても剣を抜かなければならない。剣は見えるのに、なぜか剣がつかめない。こうなったら昔、童話で見たシーンのようにキスするしかない。一度でダメなら何度でもキスして剣を抜くから覚悟しろと、切羽詰まって何をしでかすか分からない気持ちをこの表現を使って表したのである。

・혹시나 했는데 역시나（もしかしてと思ったけど、やはり）

心の中で疑っていたことが実際に的中した場合に使う表現である。もしかしたら良い結果が出るかもしれないと密かに期待していたが、結果はやはりだめだったかと落胆する場面でも使われる。澤田（2022：6）

【場面（8 話 18 分 49 秒）】キム・シンの日記が漢字で書かれていて理解できないことから、食事をおごる見返りとしてユ・ドクファに読解してもらうチ・ウンタク。日記の内容が、恋文だと分かるや、腹を立て、半泣きになる。

혹시나 했는데 역시나네. （字幕）予想通りね （直訳）もしかしてと思ったけど、やっぱりね

チ・ウンタクの心の中に、この日記はその昔キム・シンが恋い慕っていた女性へのものかもしれないという思いがあった。その一方で、全く違う内容かもしれないという密かな期待もしていた。ユ・ドクファが日記を読み解く間もどちらなのかとソワソワしながら待っていたのに、ユ・ドクファの口からは、恋文というチ・ウンタクにとっては最も受け入れがたい言葉が発せられた。その瞬間、チ・ウンタクの悪い予感が一気に浮上し、この表現を言ってしまったのである。心のどこかで違うはずだと密かに期待した分、怒りが増したのであろう。

・-면 다야?（-すれば/したら、全てなの？）

「-すれば/したら、それで済まされると思っているの？」という意味である。誰かに不当なことをされたり、直接不当なことをされたわけではないがその行動が目に余るという場合と、単に悪口として言う場合とがある。澤田（2022：12-13）

【場面（9 話 17 分 22 秒）】先に謝っておくと言いながら靴下の入った袋を死神に手渡したキム･シン。後に、死神はこの謝罪の意味を理解し、キム･シンに怒りをぶつける。

미리 사과하면 다야?
（字幕）謝れば済むと？
（直訳）前もって謝れば全てなの？

キム･シンの死神に対する謝罪は､死者の名簿を燃やしたことに対するものであった。死神の後輩が病室で死にゆく患者の所に行き、名簿を読み上げようとすると突然名簿が燃えて無くなってしまった。すると、臨終を告げられた患者が突然生き返ることになり、そのせいで死神の後輩は処理しなければならない仕事が増えてしまった。このような中、死神がキム･シンに対して言った『미리 사과하면 다야?（前もって謝れば全てなの？→前もっと謝れば済まされると思っているの？）』という台詞には、君のせいで自分たちがどれだけ大変な目にあっているのか分かっているのか、謝ったからと言って許されるわけじゃないぞという怒りが込められているのである。

・빡치다（キレる）

「怒る」という意味の俗語であるが、誰が怒るのかによって言い換え表現が変わる。怒っている相手に言う場合は「화를 내다（腹を立てる）」、「열을 받다（熱を受ける）」と、自分自身が腹が立ったことを他の人に話す場合には「화가 나다（腹が立つ）」、「열을 받다」と言い換えられる。澤田（2022：28）

【場面（12 話 4 分 20 秒）】机に向かってどの講義を受講しようか計画を立てるチ・ウンタク。ふと、キム・シンの日記が恋文だったことを思い出すと、急に腹が立ち、ついロから怒りを表す言葉が出てくる。

세삼 빡치네.
（字幕）また腹が立ってきた
（直訳）またムカついてきた。

この場面でチ・ウンタクは、これから始まる大学生活での一大イベントと言える「수강신청（受講申請）」に向けての準備をしている。韓国の大学では新学期が始まると履修する科目の登録をするためにインターネットで申請するようになっており、申請できる受付開始時間になると学生たちが一斉にクリックするという状態になる。早い者勝ちであるため、希望する科目から漏れた場合は第二希望を入れていくということになるが、どの科目の人気が高いのかは事前に分からないため、様々なパターンを準備しておかなければならない。それほど大切な準備をしている時にキム・シンの日記のことを思い出すということは、それほどキム・シンのことが気になるということである。ここでの『빡치네.（ムカついてきた）』は、独り言であり、自分自身が腹が立っているので『열（을） 받네.』、『화（가） 나네.』と言い換えられる。

・작업（作業）

本来は、一定の目的と計画のもとに行う仕事のことを指すが、俗語としては、異性を誘う「ナンパ」という意味で使われる。動詞を伴う時は、「작업을 걸다（作業をかける）」となり、「꼬시다（誘惑する/口説く）」と言い換えることができる。澤田（2022：26）

【場面（15 話 10 分 6 秒）】29 歳になったチ・ウンタクはキム・シンに対する記憶がない。落ちてくるカエデの葉をつかむと一緒に歩いている人と結ばれるという話をキム・シンがする。ホテルに戻ったチ・ウンタクは嫉妬心

から怒りが収まらない。

어휴, 여자 작업에 딱 걸린 건데 그것도 모르고 어휴, 바보야 바보.
（字幕）彼女の口説き文句にだまされたのよ
（直訳）ったく、女の作業にすっかり引っかかったのにそれも知らずに、ったく、バカだよ、バカ。

ここでは、「작업을 걸다（作業をかける）」が、「작업에 걸리다（作業にかかる）」となっている。日本語に訳すと「誘惑される・口説かれる」となり、受身形のように見えるが、韓国語では単に自動詞で表現しているに過ぎない。「작업을 걸다」は、「꼬시다（誘惑する/口説く）」と言い換えることができるが、「작업에 걸리다」は、言い換え表現がないため、主語を変えて「꼬시다」をそのまま使うしかない。従って、上記の台詞は、『여자가 딱 꼬신 건데 그것도 모르고, 바보야 바보.（女が一方的に誘惑したのにそれも知らずに、バカだよ、バカ）』となる。

・따로 없다（別にない）

「A 가 따로 없다（A が別にない→他にはない）」の形で、「まるで A みたいだ」と強調する表現である。A は、肯定的な名詞でも否定的な名詞でもかまわない。澤田（2022：9-10）

【場面（15 話 39 分 23 秒）】パスポートがないキム・シンは、先に韓国に戻って飛行機の到着を待つ。会えなかった 17 時間がどれだけ長かったかと嘆きながら『게이트가 열리고 니가 딱 보이는데…（ゲートが開いて、君が見えた瞬間…）』と言いかけると、チ・ウンタクが話を遮る。

천사가 따로 없었죠?
（字幕）天使に見えた？
（直訳）天使が別になかったでしょ？

チ・ウンタクはキム・シンの言葉を途中で遮った。キム・シンは果たしてチ・ウンタクの存在をどのように表現しようとしたのであろうか。チ・ウンタクはキム・シンが続けようとした言葉を先取りして『천사가　따로　없었죠?（天使が別になかったでしょ→まるで天使みたいだったでしょ）』と言う。キム・シンの目には自分が天使のように愛くるしく映ったはずであると、自画自賛しているのである。自分のことを天使に喩えたとしてもキム・シンが受け止めてくれるであろうと確信を持てるほど、信頼関係が構築されているという自信の表れであると言える。

6. おわりに

以上、本稿では、韓国ドラマ「トッケビ」に出てくる「独特な韓国語表現」、「文化語」、「掛け言葉」、「澤田（2022）と重複する表現」を解説した。

900 年以上生きてきたキム・シンにチ・ウンタクは、『그런　소리　처음 들어.　진짜　처음이야.（そんなこと初めて言われたよ。本当に初めてだよ）』と何度も言わせた。この台詞を言う時のキム・シンは何だか嬉しそうである。地位もプライドも高い彼の領域に誰も踏み込まなかったであろうし、彼自身も踏み込ませなかったのであろう。

キム・シンにとってのチ・ウンタクのような存在は、我々の人生にとって貴重な存在である。性別、年齢、国籍を問わず、それまでの自分の人生では出会ったことのない種類の人間の存在がどれだけ我々の人生を豊かにするであろうか。韓国語を学んでいる人にとってはそのような出会いのチャンスが国境を越えてさらに膨らむ。だからこそ韓国語力を磨いておかなければならない。我々にとってのチ・ウンタクとの出会いに備えて。